



文学研究科教育学コースについて

2025年度秋学期 大学院説明会資料
お問い合わせ：kyosen-adm@list.waseda.jp

2025年度 文学研究科教育学コースの教員構成

- 小規模 教員6名（○2025年度研究指導担当、※文学部教育学コース所属）
 - ○阿比留 久美
 - ○沖 清豪 ※
 - ○久保田 治助
 - ○村田 晶子 ※
 - 矢内 琴江(2025年度着任) ※
 - 山辺 恵理子(2024年度着任) ※
- 小規模であるゆえに、それぞれの教員が多様な関心領域をもって研究・指導を行っている

大学院生の特徴・進路

- 実践志向の強い院生が集まりやすい
 - 教育実践フォーラム開催・各種ボランティアへの関与
 - 学びと職業との連動がしやすい領域（多様な「現職」者が多い）
 - 修士修了後は博士後期課程への進学、ないし学校教員・民間教育機関、大学職員と多様で、民間企業就職者もいる
 - 卒業後の活躍については文学研究科ウェブサイト参照
 - <https://www.waseda.jp/flas/glas/about/students/>
- 教育学コースのサイトに在学生のコメントを掲載
 - <https://buneducation.wixsite.com/website-1> （大学院のタブをクリック）
- もちろん、理論志向でも拒否されない
- 教育学以外の領域からの入学者が少なくない
 - 合格後・入学後に教育学の基礎を学んでもらう場合も

3

指導教員とテーマの関係

- 修士課程 ある程度は柔軟に対応
 - 研究指導（主査）と副査2名（1名は他研究科、他大学の研究者でも可）
 - 事前に希望する指導教員（研究指導主査）と連絡を取っておくと良い
- 博士後期課程 ある程度は指導教員（主）と研究領域が重複していないと難しい
 - コース内教員2名が研究指導（主）と（副）を担当
 - 例：特別支援学校での教育について博士論文を書くのは制約が多い（高等教育の視点、あるいは子ども支援の視点で、という方法や領域が教員と重複する必要あり）
 - 指導の可否を確認するために、受験の前に希望する指導教員と連絡を取ることをお勧めします

4

研究指導・演習・講義

1. **研究指導** 修士・博士論文の指導を行う、修士は指導教員の「演習」と合併
2. **演習** 所属教員が自分の専門を踏まえたテーマを設定し、主に演習形式で授業を行う 研究の基礎を築く～共同研究を進める
 - 指導教員の演習は毎年必修、それ以外の教員の演習も履修可
3. **講義** 所属教員や非常勤講師が自分の専門を踏まえたテーマを設定し、講義から演習まで多様な方式で授業を行う
 - 複数年の重複履修可
4. **その他** 文学研究科の他コース、学内の他研究科や他大学大学院の授業（公開されているもの）を履修することも可能

5

学内学会と研究とりまとめ過程

- **文学学術院教育学会**
 - 毎年7月ごろに総会・研究報告会
 - 毎年1月末に研究発表大会 学部学生の卒論報告会と合同して、院生の研究成果報告
- **修士2年時(夏～秋) 修士論文構想報告会 →修士論文とりまとめへ**
- **博士2年時 博士論文構想発表会 →3年時の終わりまでに課程博士取得を目指す**
- **実際はだいたい5年程度かけるのが一般的**
- **退学後、3年以内に博論を提出できれば課程博士として認定**

6

2025年度入試受験について

修士課程 論文特別選抜入学試験

- 要件① 早稲田大学在学学生を対象として、卒業論文等の提出が要件
 - 文学部・文化構想学部⁴年生＝卒業論文、ゼミ論文、卒業研究
 - 他の学部＝「卒業研究・ゼミ論文・卒業論文」ないしそれに相当するもの
- 要件② 研究計画書（8000字程度）
- 要項：文学研究科ウェブサイトで公開

7

2026年度受験について

修士課程 推薦入学試験

- 出願資格
 - ①早稲田大学の学部学生（26年3月卒業見込み）
 - ②本研究科教育学コースが第一志望であること
 - ③GPA3.00以上（入学～出願時までの平均）
- 要件：研究計画書(希望する専門にかかわるテーマについて 8000 字程度)
- 2026年度入試の要項は、2025年3月末頃文学研究科ウェブサイト上で公開見込み（現在、参考資料として2025年度入試の要項を公開中）

8

2026年度受験について

修士課程 一般入学試験

- 国内大学出身者も海外大学出身者も出願可能なルート
- 要件 ...研究計画書（4000字程度）
- 参考：2026年度入試は2025年6月中に要項公開予定
 - 参考資料として前年度の要項を文学研究科ウェブ上に公開中
- 第一次試験の筆記試験： 外国語科目＋専門科目（教育学）
- ...過去3年間の問題は入学センターウェブサイトに掲載
 - https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/past_test/

9

受験について 2025年度博士後期課程

- 文学研究科教育学コースからの推薦試験などはありません
- 要項：文学研究科ウェブサイトで公開中
- 要件
 - ①修士論文（専門職大学院出身者等は相当する論文）
 - ②研究計画書
- 出願資格によって出願期間・必要な書類が異なるので、各自で確認してください

10

受験について 一般的注意事項

- 外国語科目＋専門科目
- 教育学に関する一定水準の知識＋試験時間内に一定の分量の論理的文章をまとめられる力量が必要
 - 留学生の場合は外国語科目を日本語で受験＋専門科目も日本語で解答
- 修士課程も博士後期課程も研究計画書で研究しようとしているテーマを二次試験（口述試問）で確認
- 注意：教職の専修免許取得が主たる目的の場合も（多くの教職大学院とは異なり）「研究」活動を踏まえた修士論文執筆が求められます

11

終わりに

- 文学研究科は全体としては研究者養成の性格が主たる目的です
- しかし、教育学コースは研究者養成だけでなく、社会の中で様々な教育課題に関わる実践家・実践者を養成することも目的としています
- 特に修士課程の大学院生は多様なキャリアを有する方が多く、相互に刺激しあっています
- 人と関わること、学び合うことに意欲をお持ちの方を歓迎します！

12